

介護職員初任者研修・介護事務科

県立県央産業技術専門校では、再就職を促進するために、ハローワークに求職登録をされている方を対象に、職業訓練を実施いたします。

1. **受講対象者** 公共職業安定所長の受講指示、受講推薦、支援指示が受けられる方。
2. **定員** 15名（一般離転職者）
3. **訓練期間** **座学3か月+職場実習1か月**
 平成29年11月1日(水)から平成30年2月28日(水)
 訓練時間 午前9時30分から午後4時30分まで 6時間
 休日 土・日・祝日及び校長が定める日とする。
 (実習中はこの限りではありません。)
4. **訓練実施場所** 株式会社TBC福祉教育センター
 宇都宮市南大通り2-1-2 TBC学院ビル7F（駐車場はありません。）
5. **訓練内容** 別紙、訓練カリキュラムをご覧ください。
6. **受講料他** 受講料は無料です。但し講習用テキスト代約18,000円や、訓練生総合保険料(3,600円+振込手数料)が必要です。消耗品・資格取得に係わる費用は受講者の負担です。
7. **募集期間** 平成29年9月1日(金)～9月29日(金)
8. **選考日時** 平成29年10月11日(水) 選考は午前10時からです。(受付は午前9時30分から50分まで)
9. **選考会場** 県央産業技術専門校（本館3階 視聴覚教室）
 宇都宮市平出工業団地 48-4(車の方は本校グラウンドに駐車してください。)
10. **選考方法** 提出書類・適性試験(30分、50問)・面接試験の結果により、総合的に選考します。
11. **試験結果の簡易開示** 適性試験の得点については、口頭で開示を請求することができます。開示を希望する場合には、受験者本人が、合格通知書又は結果通知と写真付き身分証明書を持参の上、県央産業技術専門校までおいでください。電話、はがき等による開示請求はできません。
12. **その他**
 - ①指定の入校願書及び履歴書にご記入の上、住所を管轄する公共職業安定所に申込をしてください。
 - ②選考には、筆記用具等、雇用保険受給資格者証(雇用保険受給者)を持参してください。辞退する場合は電話連絡をしてください。
 - ③応募者が少ない場合は、訓練を中止する場合があります。予めご了承願います。
 - ④入校までにジョブ・カードの交付を受けてください。



(選考会場) 県央産業技術専門校

TEL : 028-689-6380



(訓練実施場所) TBC福祉教育センター

TEL : 028-651-2171

訓練カリキュラム

株式会社TBC福祉教育センター

訓練科名	(県央校) 介護職員初任者研修・介護事務科 (11月コース)		訓練終了 後に想定 される 就職先	老人福祉施設、老人保健施設、 訪問介護事業所、障害者施設、 病院、通所介護、通所リハビリテ ーション、こども通所サービス		
訓練期間	平成29年11月1日～平成30年2月28日 (4ヵ月)					
訓練目標	介護職員初任者研修と介護事務の学習を通して介護に関する正しい基礎知識を身につける。現場上司の指示を受けながら訪問介護及び施設介護の基本作業ができる広い視野を持った即戦力として、介護業務関連への就職を目指す。					
訓練内容	科 目	科 目 の 内 容	訓練時間			
	学 科	オリエンテーション ワークガイダンス講習	オリエンテーション・就職支援 アイスブレイク・自己開示・ビジネスマナー・コミュニケーションの基本・企業に関する情報収集・受講動機能力を伸ばす方向性の明確化・自分の強み弱みの表現	6 9		
		職務の理解 介護における尊厳の保持・自立支援 介護の基本	多様なサービスの理解・介護職の仕事内容や働く現場の理解 人権と尊厳を支える介護・自立に向けた介護	9 12		
		介護・福祉サービスの理解と医療との連携 老化の理解 介護におけるコミュニケーション技術 認知症の理解	介護職の役割、専門性と多職種との連携・介護職の職業倫理・介護における安全の確保とリスクマネジメント・介護職の安全 介護保険制度・医療との連携とリハビリテーション・障害者総合支援制度の理念およびその他の制度 老化に伴うところからの変化と日常・高齢者と健康 介護におけるコミュニケーション・介護におけるチームのコミュニケーション	12 18 9 12		
		障害の理解	認知症を取り巻く状況・医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理・認知症に伴うところからの変化と日常生活 障害の基礎的理解・障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、関わり支援等の基礎的知識・家族の心理、関わり支援の理解	12 6		
		ところからのしきみと生活支援技術	介護の基本的な考え方・生活と家事・快適な居住環境整備と介護・整容に関連したところからのしきみと自立に向けた介護・移動・移乗に関連したところからのしきみと自立に向けた介護・食事に関連したところからのしきみと自立に向けた介護・入浴・清潔保持に関連したところからのしきみと自立に向けた介護・排泄に関連したところからのしきみと自立に向けた介護・睡眠に関連したところからのしきみと自立に向けた介護・死にゆく人に関連したところからのしきみと自立に向けた介護・介護過程の基礎的理解・総合生活支援技術演習	18		
		振り返り 修了評価 実習の理解 介護保険請求実務 訓練導入講習 就職支援	振り返り・就業への備えと研修修了後に継続的な研修 修了テスト 実技・実習オリエンテーション(服装・持ち物・注意事項等) 介護給付費請求の実際 介護職の現状の理解、企業が求める人材像 就職活動の進め方と求人情報収集の仕方・職業相談・面談指導・履歴書作成 就職講話・就職説明会	5 1 9 36 12 12		
		実 技	ところからのしきみと生活支援技術	介護に関するところからのしきみの基礎的理解・生活と家事・快適な居住環境整備と介護・整容に関連したところからのしきみと自立に向けた介護・移動・移乗に関連したところからのしきみと自立に向けた介護・食事に関連したところからのしきみと自立に向けた介護・入浴・清潔保持に関連したところからのしきみと自立に向けた介護・排泄に関連したところからのしきみと自立に向けた介護・睡眠に関連したところからのしきみと自立に向けた介護・死にゆく人に関連したところからのしきみと自立に向けた介護・介護過程の基礎的理解・総合生活支援技術演習	60	
			実習(戸外実習) 介護保険請求実務 訓練導入講習	施設サービス実習・訪問通所サービス実習 介護事務の実践 模擬実習体験	12 54 12	
			OJT 訓練	企業実習	105	
		訓練時間総合計 441 時間 (学科 198 時間、実技 138 時間、OJT 105 時間)				
		機器設備	DVD、対模型、体温計、ストップウォッチ、血圧計、吸引器、浣腸器一式、介護機器、手洗い用具、毛布、運搬用具、ベッド、寝具一式、車椅子、杖、歩行器、ストレッチャー・環境整備用具、温室時計、モデル人形、弁尿器、ポータブルトイレ、浴室、ケリーパット、口腔模型、アイマスク、調理・食事用具一式、介護実習用品一式、被服実習用品一式 他			